

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第78号

「コウノトリの足環装着」

2023年6月12日

今年もこの季節がやってきました。そうです、野外で繁殖したコウノトリのヒナに足環装着をする時期です。すべてのヒナに足環をつけているの？と思うかもしれませんが、基本的に国内で繁殖した全てのコウノトリに足環を装着しています。



小山市渡良瀬遊水地の人工巣塔

毎年何気なく実施しているように感じますが、高所作業車で近づくとき、ヒナを捕獲するとき、ヒナを巣に戻すときなど、あげるときりがないほど気を配るポイントがあります。この作業はIPPM-OWS加盟団体でおこなっており、今までの経験が蓄積、共有され安全に行うことができます。



道具を並べて準備バッチリです

コウノトリへの足環装着作業は、犬に首輪をつけるようにポンと着けられたらいいのですが、そう簡単な話ではありません。

足環に使用するのは金属のリングです。装着部分の足の太さと関節の太さを測り、足環が装着可能かを判断します。装着時はリベッターという道具を使って留めます。つなぎ目部分は少しの隙間もできないよう注意し、もし隙間が空いている場合はやり直しです。ヒナの状態もよく観察し、エサを誤嚥していないか、暑さでぐったりしていないかなど確認しています。



コウノトリの足環



捕獲時に使用する道具

足環装着とは別に羽毛や血液などの検体採取もおこない、全て終了したら巣に戻します。戻したら終わりということもなく、親鳥がちゃんと帰巢するか、足環をつけたヒナが立ち上がれるかを確認をして、ようやくホッとすることが出来ます。

今年もヒナたちが元気に巣立つことを楽しみに見守っていきたいですね。小山市のホームページから人工巣塔の状況をライブ配信で見ることができます。ご興味のある方はぜひ見てみてくださいね。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：佐藤

